

科目名	メイクアップ I		Subject	Make-up I				
サブタイトル	他者を美しくする技能と知識を学び、それらによって得られる社会的意義を学ぶ。							
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」					
開講年次	開講時期	必修／選択	DP 1 知識・技能	DP 2 主体的行動力	DP 3 課題解決能力	DP 4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	DP 5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	DP 6 美しく生きる力を実践できる能力
1 年	前期	選択						
授業形態	単位	時間						
実習	2 単位	60 時間						
ゲストスピーカー招聘回		なし	◎	○	○			
教員名	ティミー西村			メールアドレス	timmy.nishimura@・・・			
教員の略歴	美容師を経たのち、株式会社エスティローダーにてメイクアップアーティストとして22年間勤務。同社コミュニケーションズ部次長に就任。2008 年より山野美容芸術短期大学教授。2024 年度より同校非常勤講師。							
実践的教育	○ 化粧品会社のメイクアップアーティスト、広報、イベント企画者としての経験をもとに実践に即した内容としている。							
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。							

科目の概要								
スキンケアから基礎的なメイクアップまでを中心に実習を行う。化粧品と道具の種類や使用方法、メイクアップ技術に関する基礎知識と技能を学ぶ。メイクアップの基本技術を毎回1項目ずつ理解、実践、振り返り、課題を見つけ出し解決する。フルメイクアップをマスターした後は、顔型に合わせたメイクアップ法、着物に合うメイクアップ、世代によって変化する美意識などを学び、美容の現場で必要とされるメイクアップ知識、技能、様々な基準や価値観によって異なる美を主体的に表現できる技術者を育成する。関連する科目として応用編の「メイクアップⅡ」が1年次後期に開講される。								
授業方法								
対面	オンライン	ハイブリッド	ディスカッション	プレゼンテーション	作品制作			
○	-	-	-	○	○			
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）								
ディプロマポリシー	授業の目標							
DP1	他者を美しくするための基礎的な知識と技能に基づいたメイクアップを行うことができる。							
DP2	モデルのカウンセリングを行い、施術内容を主体的に判断し表現することができる。							
DP3	長所を際立たせ、短所をカバーするために何を行うべきかを課題として捉え、それらを技術的に工夫し解決することができる。							
教科書・教材								
教科書	特に無し							
参考文献	特に無し							
各自準備教材	タオル3枚、ティッシュ、コットン、綿棒、消毒用アルコール、小サイズゴミ袋、油性細字サインペン							
評価方法								
筆記試験	実技試験	受講態度	小テスト	レポート	プレゼンテーション	作品	課題	その他
30%	30%	10%	-	-	-	-	30%	-
欠席した回を含めて、全ての課題提出が必須です。 なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。								
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法								
提出課題についてコメントをつけてフィードバックします。								
履修上の条件・注意								
まつ毛エクステンション・まつ毛パーマ、アートメイクはメイク技術が行えなくなる為不可。爪が長いと施術の際危険になる為、必ず短く整える事。 ※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。								
本科目履修と関連する資格								
特に無し								

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	オリエンテーション メイクアップする意味を学ぶ。	人がなぜ化粧をするのかを理解し、説明できる。	講義内容を自宅で復習。	60 分
第 2 回	化粧品と道具の種類を学ぶ。	授業内で使用する化粧品と道具の種類、名称、用途、効果を理解し説明できる。	スマートフォンでのクラスルーム参加作業。 講義内容を自宅で復習。	60 分
第 3 回	スキンケアの重要性を学ぶ。	スキンケアの重要性と肌の健康や美しさとは何かを理解し説明できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習。	60 分
第 4 回	スキンケア化粧品の使い方を学ぶ。	何種類ものスキンケア化粧品それぞれの効果を理解し、使いこなすことができる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60 分
第 5 回	ベースメイクアップ化粧品の種類を学ぶ。	ベースメイクアップの重要性と使用する化粧品の種類を理解し実践できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅でスキンケアから下地作りまでの技術を復習。	60 分
第 6 回	メイクアップベース、コントロールカラー、コンシーラーを学ぶ。	メイクアップベース、コントロールカラー、コンシーラーの使用目的の違いを理解し、使い分けることができる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60 分
第 7 回	肌の色に対する基本的な知識を学ぶ。	顔面の色彩（明度と色相）の概念を理解し説明できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60 分
第 8 回	ファンデーションの種類と使い方を学ぶ。	ファンデーションの種類と特性を理解し、リキッドファンデーションを指を使って塗ることができる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60 分
第 9 回	フェイスパウダーを学ぶ。	フェイスパウダーをつける目的を理解し、それを使用するための道具を使いこなせる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60 分
第 10 回	ハイライト、ローライトを学ぶ。	人種による顔の立体感の違いを理解し説明できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60 分
第 11 回	フェイスプロポーションを学ぶ。	顔の形やパーツの配置を理解し、メイクアップ施術に応用できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60 分
第 12 回	アイシャドウの基本的な使い方を学ぶ。	アイメイクアップの分類と効果を理解し、3色以上のアイシャドウを使いこなせる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60 分
第 13 回	目の形に合わせたアイシャドウの使い方を学ぶ。	アイシャドウの塗り方が何種類もあり、その違いと効果を理解し説明できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60 分
第 14 回	アイシャドウを塗る位置と様々な塗り方を学ぶ。	錯覚を利用し、目の位置や角度の変化をつけられる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60 分
第 15 回	アイライン、ビューラー、マスカラの基本的な使い方を学ぶ。	アイライン、ビューラー、マスカラが使いこなせる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60 分

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間(分)
第16回	アイラインとマスカラによって目の形を変えてみせることを学ぶ。	求められる目の形に合わせアイライン、マスカラの塗り方を変化させられる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60分
第17回	アイブロウを描くことによる効果を学ぶ。	アイブロウによって顔の印象が変化することを理解し説明できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60分
第18回	アイブロウを描く技術を学ぶ。	アイブロウを描く道具の種類を理解し、正しく描くことができる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60分
第19回	リップメイクについて学ぶ。	リップカラーの種類と道具を理解し、正しく描くことができる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習し、実習内容を自宅で反復練習。	60分
第20回	チークメイクアップとフィニッシングメイクアップを学ぶ。	チークカラーによる顔色の变化を理解し、使いこなすことができる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習、実習内容を自宅で反復練習、提出課題を作成。	60分
第21回	写真の撮影とスライドの作り方を学ぶ。	仕上がったメイクアップをスマートフォンで適切に撮影し、デジタルポートフォリオとして残すことができる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習、実習内容を自宅で反復練習、提出課題を作成。	60分
第22回	デッサンの描き方を学ぶ。	仕上がったメイクアップをデッサンとして描き、ポートフォリオとして残すことができる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習、実習内容を自宅で反復練習、提出課題を作成。	60分
第23回	顔型の違いと修正方法を学ぶ。	丸顔、面長などの輪郭の違いをメイクアップで卵型に修正できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習、実習内容を自宅で反復練習、提出課題を作成。	60分
第24回	眉の描き方による印象変化を学ぶ。	顔型、印象、トレンドなどにより眉の形を描き分けられる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習、実習内容を自宅で反復練習、提出課題を作成。	60分
第25回	アイシャドウの応用テクニックを学ぶ。	アイシャドウで横割り、縦割り、陰影などの効果を理解し表現できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習、実習内容を自宅で反復練習、提出課題を作成。	60分
第26回	アイライン、ビューラー、マスカラの応用テクニックを学ぶ。	目の角度を変えて見せる技術による印象の変化が表現できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習、実習内容を自宅で反復練習、提出課題を作成。	60分
第27回	リップメイクによる印象変化を学ぶ。	唇の厚み、形、色による印象の変化が表現できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習、実習内容を自宅で反復練習、提出課題を作成。	60分
第28回	チークカラーの色、位置、効果の応用を学ぶ。	チークカラーの高さ、角度、明るさによる印象の変化が表現できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習、実習内容を自宅で反復練習、提出課題を作成。	60分
第29回	レベルチェックにより、トータルメイクアップを学ぶ。	鏡を通してモデルの顔をチェックし、左右対称なメイクアップが施せる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習、実習内容を自宅で反復練習、提出課題を作成。	60分
第30回	ベーシックメイクアップ全般の意味を学ぶ。	メイクアップIで学んだこと全般を統合して理解し表現できる。	事前にデータで送られた資料による予習。 終了後講義内容を自宅で復習、実習内容を自宅で反復練習、提出課題を作成。	60分